

西角けい子著「すべての成績は、国語力で9割決まる—たった5分の言葉がけで、子どもがひとりで勉強しだす秘密—」ダイヤモンド社 2011年9月15日刊を読む

### 1. 今日からできる！最もカンタンな「国語力」アップ法

- (1) 子どもが家庭で音読をはじめたら、お母さんの出番です。
- (2) 1日たった5分。
- (3) 教科書の音読を聞くと、子どもの「国語力の現在地」がわかるので、ひらがなやカタカナを読みまちがえないか、漢字がきちんと読めるか、文章の内容や熟語などがわかっているかを確認しましょう。
- (4) お母さんが音読を聞いてくれて、「上手になったね」とほめてもらうことで、子どもに、やる気が出ます。
- (5) いますぐにできる、最もカンタンな「国語力」アップ法——それは音読です。  
音読が「国語力」をつける第一歩なのです。

### 2. 「沿線」を「浴線」とまちがって覚えてしまう子

- (1) まちがって覚えてしまっただけは、元も子もありません。
- (2) 第2章で紹介したように、私の塾では「まっくろ大作戦」という勉強法で、子どもに漢字を暗記させています。
- (3) でも、最近、漢字のまちがいの多さが目立つようになってきました。
- (4) 「トメ」「ハネ」「ハライ」だけではありません。
- (5) たとえば、漢字ドリルの「沿線」を「浴線」とまちがって書き写したり、「緑」を「縁」と確認をしないでノートに書き進める子がいます。
- (6) ふだんパソコンや携帯電話を使うため、文字を書く機会が減っていることも影響しているのでしょう。でも、ドリルの字を正確に書き写せない子が多いことに、私はとてもショックを受けました。
- (7) それを防ぐために私は、子どもが漢字ドリルからノートに書き写していた作業をやめさせました。代わりに講師がホワイトボードに大きく漢字を書き、「トメ」や「ハネ」を色ちがいで分類して、子どもたちに注意点を説明してから、ノートに書き写させるようにしました。
- (8) 教える側にとっては手間がかかりますが、この方法で子どもたちの誤字がずいぶん減りました。

### 3. 読解問題で減点されない答え方

- (1) 国語で100点満点を取る方法があります。コツは、減点されない答えを書くこと。
- (2) なぜなら、国語の採点が「減点法」だからです。
- (3) せっかく音読して読解力を鍛えても、漢字をまちがえたり、主語や述語が抜けていると、国語で高得点は取れません。
- (4) 逆に言うと、ミスをなくせば、国語で全国トップクラスに入るのは、目前と言えるでしょう。
- (5) たとえば、漢字は合っているのに、「トメ」「ハネ」がしっかり書けていなければ、減点対象

になります。

- (6)主語やキーワードが抜けていても減点、字が乱れて汚くても減点…。特に、難関中学入試では、厳しく減点される傾向にあります。
- (7)とはいえ、難しく考えることはありません。
- (8)うっかりミスに注意して、カンペキな解答をつくることに集中するために、どうすればいいのか。その秘訣が**模範解答の暗記**です。
- (9)私の塾では、問題を解いたあとは、**講師が読み上げる模範解答を赤字できちんと書き取らせて、声に出して読ませています。**
- (10)そうやって、模範解答のパターンを覚え込ませていきます。

<コメント>

私立中学入試で抜群の実績を誇る西角先生にしかどの国語力アップの方法は音読、音読、また、音読。書き取り、書き取り、また、書き取り。音読と書き取り、二つの練習こそが国語力を決め、国語力がすべての成績を決める。考え方は極めて明確。あとは実践あるのみ。

— 2016年2月18日(木) 林 明夫記 —